

もっといきいきビオトープ ～身近な自然とのつながりを知る～

ESDの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

- 多様性
- 相互性
- 有限性
- 公平性
- 連携性
- 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

- 【批判】批判的に考える力
- 【未来】未来像を予測して計画を立てる力
- 【多面】多面的、総合的に考える力
- 【伝達】コミュニケーションを行う力
- 【協力】他者と協力する態度
- 【関連】つながりを尊重する態度
- 【参加】進んで参加する態度

プログラム目標

①自然や生き物を豊かな心で感じ取り、自然・人・物に対する見方を深め、身の回りの自然や環境を大切にしようとする意欲と実践的な態度を身に付けさせます。②生き物や利用する人にとって優しいビオトープの在り方を、様々な方法で情報収集しながら考えることができるようにします。③自分の考えていることを、工夫して伝えることができるようになります。

プログラム概要

生態系がより豊かであるビオトープにするために、児童が自ら課題を見つけ、解決に向けて活動することを学習の大きな柱としています。現在のならばやし（ビオトープ）にはどのような課題があるのかを考え、その解決に向けた方策を考え、実行することを通して、自然を豊かにし、環境を守っているという意識を高めます。その結果、全校児童が親しんでくれるビオトープを作っているという自信と誇りをもたせ、環境問題に関心を持ち解決に向け主体的に取り組むことができる児童を育てます。さらに、よりよいビオトープ作りを目指す単元の中で、ESDの視点を取り入れ、地域における人・生き物・自然との関わりについて気づかせます。

学習指導要領との関連

学年 教科	小学校5年	理科
学習内容	B 生命・地球 (2) 動物の誕生 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生き物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。 ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。 イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。	B 生命・地球 (1) 植物の発芽、成長、結実 植物を育て、発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。 ウ 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(1時間) 地域の自然について知ろう (講義)		○ゲストティーチャーのお話を聞いて、自分たちが住んでいる地域の自然に関する理解を深める。	・地域の自然に詳しいゲストティーチャーの話を聞いて、地域の自然や生き物を知る。
(2・3時間) 生き物の目で街を見てみよう		生き物の立場で街を見ることで、生き物が暮らしやすい環境を作るにはどうすれば良いのかという視点を児童に持たせる。	・よりよいビオトープにするという学習から、生き物にとってよりよい街、よりよい地域の自然にするといったように、学習をより広い範囲である地域に向けさせる。
(4時間) 街探検をして気がついたことをみんなで共有しよう		○前時の学習で気がついたことを発表し合う。	・児童同士で気がついたことや考えたことを共有することで、様々な視点から考えられるようにする。
(5・6時間) これまでの学習をもとに、地域の自然のためにできることを考えよう		○これまでの学習で得たことを生かして、地域の自然を守るために自分ができることを考える。	・ビオトープの学習で得たものや街探検をして気がついたことを応用できないかを意識させるようにする。 ・グループや全体で話し合いを行い、自分でできることを考えさせ、まとめさせる。 ・ゲストティーチャーを招き、児童が考えたことに対してアドバイスをしていただく。

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(7・8時間) 学習のまとめをしよう		○学習のまとめと発表準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの方にいただいたアドバイスをもとに、自分たちの考えをまとめる。 ・これまで学んだことをわかりやすくまとめることができるよう、工夫させる。 ・まとめたことが聞き手にしっかりと伝わるようにするためにはどうすればよいのかを意識させる
(9・10時間) 学んだことを発表しよう		○他学年の児童や地域の方に、学習したことや伝えたいことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・他学年や地域への発信の場にすると共に、発表を経験することで児童に達成感をもたせられるようにする。

プログラム地域化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー：NPO法人環境ネットワーク埼玉、埼玉県・環境部温暖化対策課、教育局市町村支援部義務教育指導課、越谷市立大袋東小学校、麻布大学 生命・環境科学部、NPO法人埼玉環境カウンセラー協会
 実証協力校等：越谷市立大袋東小学校